

令和5年度新指定重要文化財

令和6年2月26日付で次の1件の文化財を横須賀市指定重要文化財として新たに指定しました。

名称	いたちやくしよく ひぶせふどうみょうおうずがく えま 板著色 火伏せ不動明王図額（絵馬）
種別	有形文化財（絵画）
数量	1面
所在地	横須賀市久里浜2丁目366番1（地番）
所有者	宗教法人 長安寺
作者	河鍋暁斎
制作時期	明治5年（1872年）頃

画面の左側から迫り来る炎の中、虚空に化現した不動明王を拝礼する石工を描いた額絵（絵馬）です。石工の傍らには彫りかけの石像が横たえられています。

作者は、幕末・明治前期に活躍した河鍋暁斎（天保2年（1831年）～明治22年（1889年））です。古典から当世風俗まで多岐多彩な作品を残しており、旺盛な筆力と強烈な個性により、今日なお人気が高い画家です。

本図は、暁斎としては比較的温和な画風ながら、円熟期に入った頃の基準作の一つとして評価されます。また、制作背景に明治4年（1871年）の久里浜と浦賀を結ぶ久比里坂開削などがあり、横須賀ゆかりの事跡を踏まえた歴史資料としても貴重な作品です。

